

令和7（2025）年度
金沢大学大学院教職実践研究科（専門職学位課程）
入学者選抜試験問題

[小論文試験]

科目名 学校教育に関する小論文

試験時間 10:00～11:30

受験番号

--	--	--	--	--	--	--	--

(注意事項)

1. 指示があるまで開かないでください。
2. 試験開始とともに配付物の枚数が正しいか確認してください。
3. 各用紙の所定欄に受験番号を記入してください。

配付物 4 枚
(表紙・下書き用紙を除く)

試 驗 用 紙

設問 1

学習指導要領（平成 29 年度告示）の教科等の目標では、育成をめざす資質・能力を、「知識・技能」、「思考力・表現力・判断力等」、「学びに向かう力・人間性等」の三つの柱に基づいて示すとともに、これらの資質・能力全体を育成するために、教科等の特質を踏まえた「見方・考え方」を働きかせ、「活動」を通した学習過程の重要性を、冒頭の柱書に示している。以下の【問 1】、【問 2】に解答しなさい。

【問1】

教科の特質を踏まえた「見方・考え方」を働きかせ「活動」を通した学習過程について、あなたが想定する学校種と教科等を一つ取り上げ、あなたの考えを具体的に述べなさい。

【解答欄】

想定する学校種 _____ 教科等の名称 _____

【問2】

【問1】で取り上げた学校種の教科等の特質を踏まえた「見方・考え方」を働かせ「活動」を通した学習過程によって、三つの資質・能力がどのように育成されうるか、あなたの考えを具体的に述べなさい。(次ページに続く)

試験用紙

試験科目	学校教育に関する小論文	受験番号											
------	-------------	------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【解答欄】

- ・「知識・技能」の習得

- ・「思考力・表現力・判断力等」の育成

- ・「学びに向かう力・人間性等」の涵養

試験用紙

試験科目	学校教育に関する小論文	受験番号						
------	-------------	------	--	--	--	--	--	--

設問Ⅱ

「学習性無力感」とは、抵抗も回避もできないストレスにさらされているうちに、そのストレスから逃れる行動をとらなくなり「何をやってもどうせ無駄」という状態に陥ることを指す。Seligman, M. E. と Maier, S. F. (1967) は、イヌを使った実験から「抵抗や回避できないストレスに長期間さらされると、不快な状況から逃れようとする行動を起こさなくなる」ことを見出し、無気力も学習の産物であると報告した。この知見は、20世紀心理学の最大の発見とされた。その後、Maier, S. F. と Seligman, M. E. (2016) は、神経科学の方法を用いて研究を発展させ、脳が学習するのは「無力感」ではなく「状況をコントロールする可能性」であると考察を修正した。すなわち、生存のためには、苦痛を受けて何もしなくなることを学ぶ必要がなく、必要なのは「苦痛をコントロールする方法」を学ぶことであると結論付けた。状況に対して行動しなくなること（受動性）の原因是、苦痛な状況をコントロールできた経験から学んできていないためであるとした。この学習により「解決の可能性を敏感に察知して、対処することでストレスの影響を緩和できる」とした。さらに、ストレス状況にうまく対処した経験が、その後の逃避不可能な状況によって引き起こされる消極性や不安を防ぐ・軽減することを見出し、ワクチン接種による予防効果のようであることから「免疫化（Immunization）」と名付けた。

(出典) Seligman, M. E., Maier, S. F. : Failure to escape traumatic shock. *J Exp psychol* 74 : 1-9, 1967.

Maier, S. F., Seligman, M. E. : Learned helplessness at fifty : insights from neuroscience.

Psychol Rev 123 : 349-367, 2016.

上記を踏まえ、問1、問2に答えなさい。

【問1】

あなたがこれまで受けてきた教育や生活経験に照らして、上記の知見をどのように活用できると考えるか、具体的に述べなさい。

試験用紙

試験科目	学校教育に関する小論文	受験番号											
------	-------------	------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

設問Ⅱ

【問2】

あなたの子どもとの関わりの経験（教育実習・家庭教師・学童保育・フリースクール・ボランティア活動、など）に照らして、設問Ⅱの知見を活用し、①子どものどのような状況と状態に対して（問題の分析と定義・仮説）、②どのように対応するか（対応方法の策定）、考えを述べなさい。

① 子どものどのような状況と状態に対して

② ①の状況と状態への対応
